

平成30年11月6日

- ▶ 平成30年11月5日（月）に、鳥取大学乾燥地研究センターで研究活動を行なっている外国人（学生4名および特命准教授1名）を対象に日野川の総合土砂管理に関する取り組みの説明および砂防工事現場の見学を行いました。
- ▶ 日野川河川事務所では、平成21年3月に策定された「日野川水系河川整備基本方針」にて、土砂管理目標を「海岸保全対策により海岸線を維持しつつ、日野川からの土砂供給の増加に努める」と定めており、この目標を実現するため、日野川流砂系（森林を含む山地域から海岸域までの土砂の運動領域）において、河川、砂防、ダム、河口部、海岸の各領域で流砂系の土砂の流れの改善に向けた対策を行っているところです。
- ▶ 出前講座では、弓浜半島の成り立ちと海岸侵食、日野川流砂系における現状の課題と対策について説明を行い、引き続き、現在工事中である「二の沢砂防堰堤」の工事現場に移動し砂防堰堤の目的、役割について概要を説明しました。
- ▶ 出前講座は、当職員の日本語での説明に併せて、大学の先生による同時通訳を行う形でゆっくりと説明しましたが、学生達は熱心に耳を傾け、土砂供給の変遷や砂防堰堤の構造等について質問をするなど、非常に興味深く見学していました。

■ 出前講座の実施状況



座学(総合土砂管理について説明)



二の沢砂防堰堤 工事現場見学

